

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	
区 分		指定管理者自己評価結果 (指定管理者記入欄)		指定管理者一次評価 (市所管記入欄)		指定管理者二次評価 (外部評価者記入欄)
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
1 施設の設置目的の達成に関する取組み〔有効性〕	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み〔有効性〕	
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	老人福祉法と川西市条例に則り、健康に関する教室の開催や20グループの趣味の会への活動支援を行い、高齢者の健康と教養の増進を図りました。高齢者が講座やグループ活動に参加することで、教養を高め、孤独の解消をするなどの成果がありました。	A	高齢者の心身の健康増進を目的とした多様な趣味、グループの活動支援など、施設の目的に応じた運営が行われています。	意見なし	
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	施設利用に係るルールや方法について、丁寧に説明し、マイナンバーカードや健康保険証、運転免許証などで本人確認を行い、適正な方法で利用登録手続きを行いました。	A	初回利用時に身分証明書を確認し、利用手続きを進めるとともに、趣味の会を紹介するなど適切な方法がとられています。	意見なし	
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	コロナウィルス蔓延防止のために令和4年度前半は中止とした事業もありましたが、活動制限が緩和の方向性を明確にした終盤は、川西市の広報紙に掲載することで、概ね募集定員数の申し込みがありました。	A	利用者増につながるよう市の広報誌を活用してPRを行うなど、施設の周知広報活動がしっかりと行われています。	意見なし	
< 課 題 >		コロナ禍での活動制限は緩和されたが、高齢者の生活の多様化と入浴事業の令和4年度末での廃止などにより、令和5年度の利用者数の大幅な減少が懸念されます。		入浴事業の廃止により利用者減が見込まれるため、趣味の会などのグループ活動の周知がさらに必要になってきます。	入浴事業の廃止に伴う利用者の減に対応するため、利用者のニーズを把握し影響を最小限にすること。	
< 改善内容 >		令和4年度の活動制限の緩和に伴い、飲食不可の制限を取り払い、飲食室での8人までの利用を可能とした。		活動制限の緩和により、高齢者の活動も活発になると考えられますので、今後も感染対策を行いつつニーズに応えられるよう努めてください。	意見なし	
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	入浴やスカイウォーク(電位治療器)、血圧測定、マッサージ器は、健康の増進のために有効に活用されました。趣味の会の活動として囲碁や将棋、絵手紙、書道、カラオケ、童謡唱歌、パソコン、グランドゴルフ、フラダンス、詩吟などのグループ活動に参加することにより、高齢者の教養の向上や孤独の解消が図られました。	A	健康機器の設置や入浴を通じて、健康増進を図る場として適切に機能しています。さらに趣味グループの活動支援を通じて利用者の教養向上を図る場として有効に機能しています。	意見なし	
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	高齢者の関心が高い内容の「フレイル予防講座」や健康体操の講座を開催し、利用促進に努めました。令和4年度の活動制限の緩和により、下半期の利用者数が増加しました。	A	高齢者の関心の高い内容の講座を定期的で開催するなど利用者増に向けた取り組みが図られています。	意見なし	
< 課 題 >		コロナ禍で自粛されていた利用者の活動機会を増やし、心身機能の低下を止め、途切れている交流を再開し、利用促進を図ることが大切です。		入浴事業の廃止により、高齢者の生きがい作りの機会が減少する懸念があります。	意見なし	
< 改善内容 >		3密を避け、換気を継続しました。空気清浄機の設置、体表面AIカメラ(検温器)の設置を行い、施設の利用がしやすい環境をつくりました。		コロナウィルスが5類に移行されましたが、引き続き高齢者へは可能な限り感染対策を行い事業を続けていく必要があります。	意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度	
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	講座の終了後にアンケートを実施したり、利用者の満足度や意見をいただきました。	A	各講座ごとにアンケートを実施するなど、利用者の意向を確認する体制がとられています。	意見なし	
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	アンケートから健康や身体能力の維持に関心が高いという結果が出ており、令和5年度も健康体操などの事業に組み込んでいきます。	A	アンケートから利用者のニーズの傾向を的確に把握し、事業に反映させています。	意見なし	
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	老人福祉センターが廃止となっても一の鳥居でグループ活動を続けたいという要望を事務局から川西市に伝えてもらいました。	A	活動場所の確保の不安などの意見が増加する中で、丁寧な対応と意見の反映ができています。	意見なし	
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	令和4年度は意見箱を通しての要望はありませんでしたが、利用者とのコミュニケーションを大切に、普段から利用者のお話を聞き、話しやすい環境を作るよう心がけています。	A	日頃から利用者とのコミュニケーションをとれる環境作りをする姿勢は評価できます。	意見なし	
サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	自然の花を生けるなど季節の移り変わりを利用者の皆様とともに感じ、常に施設内の美化に努めています。「この花の名前は？」からコミュニケーションが生まれています。	A	利用者へ快く利用していただけるよう、施設内外の美化に気を配られています。	意見なし	
< 課題 >		2階へ上がるには階段を使うしかないため、利用に負担のかかる利用者もおられます。		特になし。	意見なし	
< 改善内容 >		グループ活動の利用者の皆さんにも、3密にならない取組み、定期的な換気、備品等の消毒作業を継続してご協力いただきました。以前より利用者から空調機器の故障等について要望がありましたが、空調機器の電氣化が令和4年度内に終了し、喜んでいただいています。		引き続き、高齢者が満足して利用できるような環境整備を行い、生きがいづくりにつながる事業を継続していく必要があります。	意見なし	
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減	
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	B	蛍光灯の一部間引きや空調機の温度設定を調整し夏は26、冬は22とし、退室時は電源を切るなどを利用者にお願ひし、節電に努めましたが、円安の影響から原油高となり、水道光熱費が上昇しました。	B	経済的な要因による水道光熱費の上昇はありましたが、利用者へのご理解・ご協力を得ながら削減する取り組みはできています。	意見なし	
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	業務委託や修繕については、見積もり合わせを行い、常に経費節減を意識して取り組みました。また、消耗品購入は、同水準のものをより安い業者を探すなど節約に努めています。	A	可能な限り複数業者との相見積もりを行う等、経費削減に努め、適切な運営をしています。	意見なし	
< 課題 >		施設は建築後47年が経過し、建物や設備など全体の老朽化が著しい状況です。設備の更新や修繕も市の所管と相談しながら、安全面を一番に考え、行っていく必要があります。		事業休止につながる突発の不具合が生じないよう、計画的な対応をとる必要があります。	意見なし	
< 改善内容 >		入浴事業を令和4年度末で廃止したことで、令和5年度以降の水道光熱費の大幅な抑制に繋がります。		水道光熱費が値上がりしているため、引き続き利用者へ節電を呼びかけるなど、経費の削減に努めてください。	意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)									
(2-2) 収入の増加	評価なし		評価なし									(2-2) 収入の増加	
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。													
収入の増加など取り組みの効果が得られたか。													
< 課 題 >													
< 改善内容 >													
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし		評価なし									(2-3) 収支のバランスなど	
収支のバランスは、適切であったか。													
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。													
収支の内容に不適切な点はなかったか。													
< 課 題 >													
< 改善内容 >													
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A									3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A									(3-1) 管理運営の実施状況	
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	令和4年度は所属長は再雇用1人、指導員1人と事務員1人は臨時職員で、基本3人の体制で管理運営を行いました。	A	人員配置は適切です。								意見なし	
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	地域福祉等に関する内部研修、高齢者福祉に関する介護保険サービス協会の研修等に適宜参加しました。	A	業務改善に直接関係する研修等に積極的に参加しています。								意見なし	
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	修理可能なものは職員が修繕するなど経費節減し、業者依頼の場合も、相見積もりをとり安価な業者を選定しました。利用者とのコミュニケーションを大切に丁寧な窓口対応を行いました。	A	修繕の実施に当たっては、極力複数業者へ見積もりを依頼するなど適切に運営しています。また、設備を使用する際は、利用者の協力も得ながら光熱水費の削減に取り組んでいます。								意見なし	
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	コロナウイルス等感染予防対策として、利用者到着時に検温していただき、利用日毎、利用表に連絡先と体温を記入していただきました。	A	新型コロナウイルス感染症対策として、検温や手指消毒などを利用者に徹底するなど、適切に対応されています。								意見なし	
< 課 題 >		敷地内の樹木は、大木になって枯れ枝が落下したり、電線に架かりそうになっているものがあり、その管理が課題となっています。		特になし。								意見なし	
< 改善内容 >		令和3年度に引き続き、令和4年度も樹木について、剪定等を行い危険な状態にならぬよう管理を継続しました。 川西市に表面AIカメラ(検温器)の設置、空気清浄機の設置、空調機の電氣化を提案し、実施いただきました。		特になし。								意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)									
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など								
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	利用者については、初回利用時に、運転免許証や健康保険証で本人確認を行い登録していただいています。 施設の事業運営に関しては、社協本部監査チームによる内部監査を実施しています。	A	身分証などで本人確認を実施するなど、適切な手続きがとられています。 また、内部監査の内容も職員間で情報共有を行うなど、業務改善に努めています。	意見なし								
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報は、持ち出し禁止とし、鍵のかかる保管庫に入れ適切に取り扱われています。	A	個人情報を鍵付きの保管庫に入れており、適切に取り扱っています。	意見なし								
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	センター内の通路には、転倒防止のため障害となる物を置かないように注意しています。 玄関には、靴の履き替え用の椅子を置き、転倒を防止するようにしています。 また、熱中症予防のポスターなどを掲示し、注意喚起を行っています。	A	大きな事故が発生する前に、予防的に措置を講じたり注意喚起をするなど、適切に対応できています。	意見なし								
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	閉館後や休日の警備は、アルソックに機械警備を委託をしています。 火災避難訓練を年2回実施し、安全対策に務めています。 また、防犯カメラを設置し、敷地内の安全を確認しています。	A	防犯対策として警備会社に業務委託したり、防犯カメラを設置するなど防犯対策はできています。 また、防火訓練を年2回行うなど、有事に備えた危機管理体制を敷いています。	意見なし								
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時のマニュアルや感染予防マニュアルなどを作成し、職員間で共有しています。	A	緊急事態に備えてマニュアルを作成しており、非常時に適切な対応ができるような仕組みが整備されています。	意見なし								
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	センター内には、施設利用に関する注意事項をわかりやすく掲示しています。	A	平等な施設利用を達成するために掲示物等で周知を行っており、適切な配慮がされていると言えます。	意見なし								
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。		非該当		非該当	非該当								
< 課 題 >		南海トラフ巨大地震などの大災害が発生した場合の具体的な対応策について、災害時どこに避難すれば安全なのかなど専門家による検討や研修が必要である。		今後想定される災害に対応した危機管理マニュアルの策定を随時お願いします。	意見なし								
< 改善内容 >		安全対策向上のため施設敷地内の様子が防犯カメラで分かるよう設置台数を8台に増加しました。		引き続き、安全対策及び防災対策の徹底をお願いします。	意見なし								

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク	A		A			評価できる内容	入浴に来られた利用者の多くが血圧測定、スカイウェル(電位治療器)、マッサージ器を利用することで健康の維持、増進に効果を発揮しました。	入浴事業や、健康増進機器の設置、高齢者の関心が高い内容の講座を開催するなど、利用者の増加に向けた取り組みを実施されています。	意見なし
令和4年度に改善した内容		コロナウイルス感染症などへの対策として、体表面AIカメラ(検温器)の設置、換気機能付電気空調機の設置、空気清浄機の設置を行いました。		引き続き予算の範囲内で修繕等を行い、利用者の満足度の向上に努めてください。		令和4年度に改善したことによる効果	空気清浄機の設置、利用者の入館時検温の継続実施、空調設備の電気化(換気機能付)により、コロナウイルス感染症等蔓延防止対策が充実し、クラスターなどが発症することはありませんでした。	高齢者へは感染対策の実施が今後必要になりますので、引き続き感染対策を継続して行ってください。	意見なし
問題があり次年度以降改善が必要な点		指定管理期間が令和7年3月末で終了し、老人福祉センターが廃止になることは決まっているが、その後の施設のあり方や管理がどう決まっていくのか不確定で、利用者のその後の使用についての質問に答えられません。 建物設備の維持に関することは、12条点検もあり、市施設マネジメント課に把握していただいているが、扉扉や玄関、屋根の補修など大きな修繕・改修等の提案を継続していくことが必要と考えています。		施設の老朽化が著しく、優先順位を決めたくうえで、計画的な回収が実施できるよう、今後も不具合箇所適切な把握をお願いします。		改善方法とその時期	廃止後の施設のことで川西市で決まったことがあり、地域の方や利用者には知らせることがあれば、情報がほしいです。 令和5年度予算に反映されなかったが、扉扉など不具合が出ているものがあるので、引き続き市と協議して要望をあげていくことが必要です。	修繕工事については、計画的な修繕が可能となるように、適宜市と協議しながら検討をお願いします。	長年老人福祉センターで活動を行ってきた利用者へ、次の活動の場を提供するなどのフォローをしっかり行うこと。

【記入上の留意点】

- 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
- 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。